

一般社団法人 島根県臨床検査技師会  
令和5年度  
定期総会議案書

目 次

議案

令和4年度経過報告 .....	1
令和4年度決算報告 .....	4
会計監査報告 .....	7
精度管理調査受検料（参加費）の値上げについて .....	8

その他

活動報告 .....	9
令和5年度予算 .....	29
賛助会員 .....	30
会員状況 .....	31



一般社団法人

島根県臨床検査技師会

令和5年5月1日

会員各位

一般社団法人 島根県臨床検査技師会

会長 領家 敬子

### 令和5年度 定期総会について

定款第16条により、令和5年6月4日（日）10時00分より島根大学医学部附属病院 ゼブラ棟だんだん にて一般社団法人島根県臨床検査技師会「令和5年度 定期総会」を開催いたします。会員各位、多数の出席を要請します。

#### 1. 議 事

##### 1) 第1号議案 令和4年度経過報告

(1) 総括

(2) 総務部

(3) 企画部

(4) 学術部

(5) 経理部

(6) 西部地区

##### 2) 第2号議案 令和4年度決算報告

##### 3) 第3号議案 会計監査報告

##### 4) 第4号議案 精度管理調査受検料（参加費）の値上げについて

#### 2. 報告事項

##### 1) 令和5年度予算

### 表彰について

例年、日臨技及び島臨技の永年職務精励賞については氏名と施設名を掲載しておりましたが、日臨技が個人情報保護法を遵守して名簿作成を取りやめた事を受け、当会もお名前の掲載を差し控えさせて頂くことにいたしました。何卒ご理解頂きますようお願い申し上げます。

## 【第1号議案】

# 令和4年度経過報告

### 総括

令和4年度においても新型コロナウイルス感染症の影響の中での活動となった。各部門で計画していた事業のうち、「新人研修」や「健康フェスティバル」等やむなく中止としたものもあったが、状況を踏まえながら規模を縮小するなどして「検査と健康展」を開催できた事は活動復活の兆しを感じることができ大きな意味があった。

また、令和3年度末にスタートした「タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」は、今年度第2回目、3回目、4回目が開催され、県内の会員数の約半数が受講終了し、日臨技のなかでもトップの受講率となった事は大変誇らしいことである。

その他、各学術部門の研修会や島根医学検査学会、精度管理調査報告会についてもWEBでの開催が多かったが、集合形式では参加できない人も参加できるなどメリットも感じられた。特に臨床生理部門の中四国支部研修会が島根県主催で実施されたが、全国から受講いただき約500名におよぶ参加者となりうれしい悲鳴を上げることとなった。これらすべての事業については、実務委員、各部門員、担当理事等、関係された皆様のご尽力の賜物であり心から感謝申し上げます。

日臨技と連携した活動として、「タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」は、大きな成果を実感したが「臨地実習指導者講習会」や「県版：災害マニュアル」、「地域ニューリーダー育成」については継続的な取り組みが必要な事業として捉える。

島根県臨床検査技師会は会員の皆様に有益となるよう事業を進めることを基本としている。社会的にも少しずつ活動しやすい状況となることを期待し、改めて会員の皆様の積極的参加による支援が重要と感じた。

### 総務部

令和4年度の定期総会を今回もZoomによるWEBミーティング形式にて行った。「令和3年度経過報告」「令和3年度決算報告」「会計監査報告」について審議、承認をいただき可決された。また役員改選を行い、今年度からは「理事・監事」と「学術部門員」を同時に改選することとし、16名の新理事・監事、26名の学術部門員が選出・承認され、新体制での活動がスタートした。

引き続きコロナ禍のため、集合形式での行事開催はタスク・シフト実技講習会のみにとどまった。新人研修会においては、一度は開催を予定し企画段階まで入ったが、相次ぐ県内感染者増により開催を断念した。世の中の状況も変わってきたことで、今後は様々な集合形式での行事を再開させることが可能になるであろう。

広報では、島臨技ニュースNo.164～166の3号を発行した。また、島臨技ホームページでの情報更新に努め、タスク・シフト実技講習会や部門研修会の開催案内等を随時掲載するよう努めた。

## 企画部

新型コロナウイルスの広がりにより開催出来なかった「検査と健康展」を2年ぶりに、松江イオンショッピングセンターで開催した。2年という空白が有ったため戸惑う事も多々あったが、21名の実務委員の方々のご協力により104名の被検者を得て、盛会裏に終了することが出来た。

また令和3年度から始まった「タクス・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」の県内実技講習会を下記4回開催し、受講修了者223名、終了率は48.7%で全国1位となった。

(令和5年3月3日時点)

第1回	令和4年3月20日	松江赤十字病院	受講終了者60名
第2回	令和4年8月28日	ろうかん(労働会館)	受講終了者58名
第3回	令和5年1月29日	朱鷺会館	受講終了者51名
第4回	令和5年2月26日	松江赤十字病院	受講終了者54名

双方とも当日の実務はもとより、事前の準備からご尽力いただいた皆様には心より感謝申し上げます。併せて今後も多くの方々にご協力をお願いしたい。

## 学術部

研修会は、新型コロナウイルスによる影響のためにZoomを用いたWeb形式を中心として行われた。今年度は島根県が担当した中四国支部研修会を含め計10回の研修会を開催することができた。運営側はネット環境の整備や機材の準備など大変なことも多かったが、大きなトラブルなく無事に終了することができた。今後は、研修会のあり方も新型コロナウイルス感染症が5類に移行することにより、現地開催あるいはWeb形式とのハイブリッド開催も増えてくると思われる。いずれにしても、会員にとって臨床に役立てられる研修会を企画していきたい。

島根医学検査は、今年度も県学会・中四国学会・全国学会で発表した会員を中心に論文投稿を依頼し、計11名の方に執筆していただいた。特に査読者選定については学術部門長の方々にご協力いただき、無事に発行することができた。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。投稿内容については、学会で発表した内容だけではなく、病院での取り組みなど幅広い分野での投稿募集を行うので、引き続きご協力をお願いしたい。

精度管理事業は、精度管理委員長・副委員長および各学術部門長・副部門長を中心に組み合わせていただいた。精度管理報告会は、去年と同様にWeb開催し、多くの会員に参加いただいた。今年度は精度管理試料について、近年の費用高騰や一部会員の個人的な負担になっていたことを考慮し、方針転換する機会となった。精度管理事業は大きな事業の1つであるため、引き続き会員の皆様には重要性を認識していただき、ご理解いただけるように努めていきたい。

## 経理部

コロナ前と同等とはいかないものの「検査と健康展」の2年ぶりの開催、集合形式の理事会、「中四国支部学会」や「タスク・シフト実技講習会」等の人の動きが出るに伴い、金銭的にも少しずつ動きがみられる1年で有った。

しかしながら研修会等はオンライン形式が依然として主流で、県外からの参加者も多く、日臨技からの補助金も受領でき、結果的には資産が増える結果となった。

ただ、昨今の物価の高騰や諸費用の値上げがどのような形で影響を及ぼすかわからず、精度管理事業においても高額な試料の購入が必要となってくる。今後出費が増える中、安定した事業運営を行えるよう今まで通り堅実な会計処理を行っていく所存である。

最後に、当会運営にご協力いただいた企業の皆様、関係者の皆様に感謝し、心より御礼申し上げます。

#### 西部地区

3月12日(日)記念すべき第10回島根県医学検査学会が昨年同様WEB形式にて開催となった。当初は集合形式やハイブリッド形式など模索されたが、コロナ感染症の急速な増加に伴い完全WEB開催となった。参加人数は137名と昨年同様多くの会員の参加が得られた。次回は日臨技の抄録登録システムを使用する予定である。今年度も多くの会員の方の参加を期待したい。

また、西部地区では例年公益事業として浜田健康福祉フェスティバルに参加をしてきた。当初は血圧脈波による血管年齢の測定を準備していたが今回もまた開催が中止となった。

今年度はコロナ感染症の状況次第ではあるが、開催ができる事を大いに期待している。会員同士の交流を深め情報交換の場として最適であり、多くの会員の皆さんの参加を懇願する。

【第2号議案】

令和4年度 一般会計決算

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

款	項	目	令和4年度 予算額	令和4年度 決算額	増減	備考
会費収入			3,950,000	4,055,000	105,000	
	会費収入	会員会費	3,150,000	3,255,000	105,000	7,000×465名
		賛助会員会費	800,000	800,000	0	40社
事業収入			880,000	1,450,070	570,070	
	事業収入	広告収入	150,000	195,000	45,000	島根医学検査、HP
		研修会参加費	0	0	0	
		精度管理参加費	230,000	234,000	4,000	41施設
		助成金	500,000	1,021,070	521,070	日臨技助成金
雑収入	雑収入	雑収入	10,000	59,335	49,335	預金利息、文献使用料
繰越収入	繰越収入	前年度繰越金	4,500,000	4,653,555	153,555	
収入合計			9,340,000	10,217,960	877,960	

款	項	目	令和4年度 予算額	令和4年度 決算額	増減	備考
事務費			3,310,000	2,545,110	△764,890	
	庶務費		2,430,000	1,974,865	△455,135	
		役員報酬	300,000	282,000	△18,000	
		人件費	1,300,000	1,151,002	△148,998	事務職員人件費
		消耗品費	250,000	79,483	△170,517	ラベル、封筒、コピー用紙他
		通信費	200,000	118,353	△81,647	電話、インターネット、切手他
		備品費	230,000	219,120	△10,880	コピー機リース料
		管理諸費	150,000	124,907	△25,093	支払い手数料、登記諸費用
	会議費		330,000	103,243	△226,757	
		会議費	30,000	16,533	△13,467	タスク・シフト、臨地実習
		旅費交通費	300,000	86,710	△213,290	
	事務所費	事務所費	500,000	467,002	△32,998	事務所家賃、光熱水道費
	雑費	雑費	50,000	0	△50,000	
事業費			3,050,000	1,990,580	△1,059,420	
	総会費	総会費	150,000	124,200	△25,800	議案書他
	精度管理費	精度管理費	750,000	621,942	△128,058	試料代、送料、実務委員日当
	学術活動費		900,000	449,907	△450,093	
		学術活動費	400,000	146,197	△253,803	研修会、県学会
		会誌	500,000	303,710	△196,290	島根医学検査
	広報活動費		850,000	684,603	△165,397	
		島臨技ニュース	400,000	296,989	△103,011	年3回発行
		広報活動費	150,000	124,126	△25,874	HP維持管理
		地域活動費	300,000	263,488	△36,512	検査と健康展
	組織強化費		400,000	109,928	△290,072	
		厚生費	300,000	34,928	△265,072	会員慶弔費
		組織強化費	100,000	75,000	△25,000	
予備費	予備費	予備費	400,000	267,630	△132,370	パソコン購入
支出合計			6,760,000	4,803,320	△1,956,680	

区分	令和4年度 予算額	令和4年度 決算額	増減	備考
収入額	9,340,000	10,217,960	877,960	
支出額	6,760,000	4,803,320	△1,956,680	
差引額	2,580,000	5,414,640	2,834,640	

《学会準備金》 1,000,000円

《令和4年度末正味財産》 6,414,640円

# 貸借対照表

令和 5年 3月 31日 現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1.流動資産			
現金預金	5,414,640	4,653,555	761,085
流動資産合計	5,414,640	4,653,555	761,085
2.固定資産			
(1)特定資産			
学会準備積立資産	1,000,000	1,000,000	0
特定資産合計	1,000,000	1,000,000	0
固定資産合計	1,000,000	1,000,000	0
資産合計	6,414,640	5,653,555	761,085
<b>II 負債の部</b>			
1.流動負債			
前受金	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
<b>III 正味財産の部</b>			
1.指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2.一般正味財産	6,414,640	5,653,555	761,085
(うち基本財産への充当額)			(0)
(うち特定財産への充当額)	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)
正味財産合計	6,414,640	5,653,555	761,085
負債及び正味財産合計	6,414,640	5,653,555	761,085

# 正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日 から 令和 5年 3月 31日 まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
(1) 経常収益			
受取会費	( 4,055,000 )	( 2,644,000 )	( 1,411,000 )
会費(正会員)	3,255,000	1,824,000	1,431,000
会費(賛助会員)	800,000	820,000	△ 20,000
事業収益	( 429,000 )	( 413,000 )	( 16,000 )
広告収入	195,000	190,000	5,000
研修会参加費	0	0	0
精度管理参加費	234,000	223,000	11,000
受取補助金等	( 1,021,070 )	( 659,800 )	( 361,270 )
補助金等	1,021,070	659,800	361,270
その他収益	( 59,335 )	( 15,889 )	( 43,446 )
受取利息	80	55	25
雑収入	59,255	15,834	43,421
経常収益計	5,564,405	3,732,689	1,831,716
(2) 経常費用			
庶務費	( 2,545,110 )	( 2,383,942 )	( 161,168 )
役員報酬	282,000	282,000	0
人件費	1,151,002	1,132,686	18,316
消耗品費	79,483	43,523	35,960
通信費	118,353	130,876	△ 12,523
備品費	219,120	219,120	0
管理諸費	124,907	40,239	84,668
会議費	16,533	31,688	△ 15,155
旅費交通費	86,710	10,360	76,350
事務所費	467,002	451,492	15,510
雑費	0	41,958	△ 41,958
事業費	( 2,258,210 )	( 1,787,962 )	( 470,248 )
総会費	124,200	114,860	9,340
精度管理費	621,942	659,727	△ 37,785
学術活動費	146,197	141,127	5,070
会誌	303,710	421,080	△ 117,370
島臨技ニュース	296,989	246,254	50,735
広報活動費	124,126	108,180	15,946
地域活動費	263,488	0	263,488
厚生費	34,928	36,734	△ 1,806
組織強化費	75,000	60,000	15,000
予備費	267,630	0	267,630
経常費用計	4,803,320	4,171,904	631,416
当期経常増減額	761,085	△ 439,215	1,200,300
当期一般正味財産増減額	761,085	△ 439,215	1,200,300
一般正味財産期首残高	5,653,555	6,092,770	△ 439,215
一般正味財産期末残高	6,414,640	5,653,555	761,085
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	6,414,640	5,653,555	761,085

【第 3 号議案】

監査報告書

## 【第4号議案】 精度管理調査の受検料の改定について

各施設における精度管理については、平成29年6月14日医療法の一部改正が公布され、精度管理の位置づけの明確化、その後、政令、省令、施行規則などにより精度の確保に関する基準が定められ、その重要性は増々高まってきている。そのような状況の中、(一社)島根県臨床検査技師会精度管理調査においてもその質の担保は重要と考える。下記状況等を鑑み受検料(参加費)の増額について承認をお願いする。

### 1. 受検料改定事由

- 1) 各種物価(容器代・搬送費)高騰により、事業に関わる諸々の値上げのため。
- 2) 2部門において、新たに試料を外部より購入することとし約30万円の増加が見込まれるため。

#### 【生物化学分析部門】

3万円程度で入手できていた福岡県技師会の試料販売が中止となるため、新たに試料購入すると金額が現在より12万円程度増加の見込み。

#### 【臨床血液部門】

部門長、副部門長が供血されたものから試料を作製しているが、負担が大きい。また精度を保つためにも、業者より購入することとし約18万円程度増加の見込み。

### 2. 受検料について

#### 【現行】

臨床化学・血清・輸血・一般・血液・生理は何項目参加されても一律 **5,000円**  
細菌および病理・細胞診は各1,000円のオプション

#### 【案】

臨床化学・血清・輸血・一般・血液・生理は何項目参加されても一律 **8,000円**  
細菌および病理・細胞診は各1,000円のオプション

### 3. 改定年度について

2024年度の精度管理調査より増額する。

ただし、今後も状況を見るが3年間は値上げをしない。

## 専門別活動報告

### 1 総務部

#### 1) 諸会議

(1) 定期総会 令和4年5月29日(日) Zoomによるオンライン開催

- ◆ 令和3年度 経過報告
- ◆ 令和3年度 決算報告
- ◆ 会計監査報告
- ◆ 役員の選任
- ◆ 名誉会員の選任

出席会員数 330名(委任状174名含む) (会員総数463名)

#### (2) 理事会

第1回 令和4年5月29日(日) Zoomによるオンライン開催

##### 審議事項

##### 1. 代表理事選任及び理事役職決定について

- ◆ 任期満了に伴い、令和4年5月29日(日)開催の定期総会で選任された理事15名のうち12名の理事が出席し、代表理事(会長)の選任が行われた
- ◆ 代表理事(会長)に立候補した領家氏について、満場異議なく選任可決された
- ◆ なお、被選任者は、席上で即時就任を承諾した
- ◆ また、他の役職理事についても下記のとおり決定した
- ◆ 役員全員が下記内容で承認した

##### 記

会 長	領家 敬子	島根県立中央病院
副会長(学術担当)	荒木 剛	島根大学医学部附属病院
副会長(総務・企画担当)	青戸 正樹	松江赤十字病院
専務理事(事務局長)	高野 智晴	松江赤十字病院
常務理事(西部地区長/広報)	吉岡 豊道	益田赤十字病院
常務理事(総務部長)	赤沼 佳子	島根県立中央病院
常務理事(企画部長)	石川 理恵	松江生協病院
常務理事(学術部長)	杉原 辰哉	松江市立病院
常務理事(経理部長/企画)	陶山 すみこ	松江記念病院
理 事(広報)	藤原 誠	雲南市立病院
理 事(企画/総務)	角 久美子	JA 島根厚生連
理 事(学術/企画)	吉田 寛幸	出雲市民病院
理 事(広報/企画)	石倉 陽子	JCHO 玉造病院
理 事(学術/企画)	吾郷 春奈	町立奥出雲病院
理 事(西部地区/学術)	野津 礼子	大田市立病院
監 事	和田 和美	公財)ヘルスサイエンスセンター島根
監 事	矢田谷 浩一	島根県立中央病院メディエンス検査室

##### 2. 総務部パソコンについて

- ◆ 総務部のパソコンの老朽化により、使用できなくなった
- ◆ 早急に新しいものを購入して欲しいとの要望が有り、全員承認した

## 報告事項

### 《広報》

- ◆ 新役員への島臨技ニュースの原稿依頼
- ◆ 自己紹介、夢中になっている事、お勧めスポット等に写真を添えて6月10日までに提出依頼
- ◆ 学術部門員、新入会員へも原稿依頼（メールにて依頼）
- ◆ 島臨技ニュース内での写真展の提案 - 後日企画書を提出した上で検討
- ◆ 会員の横の繋がりを作るため、年に1度のイベント開催の提案  
- 後日企画書を提出した上で検討

### 《会長》

- ◆ 6月25日（土）に日臨技の定期総会と理事会が開催される予定
- ◆ これを受けて具体的な事業計画及び進め方、役割分担を決める必要があるので、7月上旬に集合形式で第2回理事会を開催
- ◆ 当県の学術部門長が決定し、今後その中から中四国支部の学術部門長が決められる
- ◆ 例年は当番制であったが、今年度より選任された人達で互選するという方向性に決定
- ◆ 県によって偏りが有る可能性もある。Webによって6月下旬に決定予定

### 《副会長》

- ◆ 部長が変更になった部については、速やかに引継ぎを行って頂きたい

### 《タスク・シフト実技講習会》

- ◆ 6月24日（金）松江赤十字病院にて実務委員会議を開催

第2回 令和4年7月1日（金） 島根大学医学部附属病院（一部オンライン）

## 報告事項

### 《総務》

- ◆ 会員の動向 466名（入会30名） 令和4年6月27日現在
- ◆ 6月20日に新役員で登記完了
- ◆ 各県、関連団体等へ役員交代の挨拶状送付済み

### 《企画》

#### 【検査と健康展】

日時：11月5日（土） 10：00～15：00

会場：松江イオンショッピングセンターで開催予定

内容：骨密度測定、血管年齢、貧血検査、パンフレット配布、医師による健康相談  
実務委員として各施設への協力を要請

### 《学術》

#### 【研修会】

- ◆ 学術部も新しい部門長が3名加入。今回は継続の方が多いので、新規の方のみ文書での研修会推進方法等の説明を行い、随時事務局で対応する
- ◆ 9月10日（土） 臨床一般部門研修会（予定）WEB開催
- ◆ 9月25日（日） 生物化学分析部門研修会（予定）おそらくWEB開催
- ◆ 中四国支部研修会：今年度島根県担当で開催の研修会は病理、生理の2部門

#### 【精度管理】

- ◆ 今年度もJAMTQCを使用するため申請書を日臨技へ提出
- ◆ 精度管理報告会・島根医学検査学会を同日開催の予定

《西部》

【浜田市健康フェスティバル】

日 程：10月30日（日）

会 場：いわみーるで開催予定

内 容： 血圧測定による血管年齢測定

5月12日 第1回実行委員会

7月4日 第1回スタッフ調整会議 吉岡氏参加

《タスク・シフト実技講習会》

- ◆ 第2回実技講習会 8月28日（日） 松江赤十字病院にて開催
- ◆ 7月1日（金）9時～7月31日（日）受付期間実務委員の定数が7名→8名に増員
- ◆ 領家氏は会長職のため退任
- ◆ 継続委員（青戸氏、高野氏、赤沼氏、藤原氏、杉原氏、石川氏）6名に加え下記2名加入  
安井 亘 氏 （島根大学医学部附属病院）  
小笠原 愛 氏 （松江赤十字病院）
- ◆ 第3回実技講習会 2023年1月29日（日） 島根大学医学部附属病院にて開催予定
- ◆ 会場が狭い、会場出入りに関してセキュリティ問題（カードキー認証要）等あり
- ◆ 今後西部での開催を視野に入れて、西部からの参加者増を望む
- ◆ 出雲：県立大学は許可が下りにくいため朱鷺会館を会場候補に
- ◆ 大田：あすてらすも会場候補に
- ◆ 看護師の講師候補がいれば、情報提供を求む

《会長》

【臨地実習指導者講習会について】

新田氏より報告

- ◆ 6月12日（日）8時～19時
- ◆ 第13回臨地実習指導者講習会（中四国支部）ファシリテーターとして参加
- ◆ 今回の講習会は56名の参加があり、残念ながら島根県からの参加者なし
- ◆ 2年後には臨地実習ガイドライン2021に準じた形での臨地実習及び実習生受け入れ開始
- ◆ 現状では島根県内で講習会を終了した会員がいる施設は3施設  
（島大、松江日赤、松江市立）のみ
- ◆ 実習先として島根県を希望する学生がいることが想定され、実習先受け入れ施設が増えるよう技師会として働きかけが必要と思われる

【中四国支部医学検査学会（広島）での島根県の役割担当確認】

- ◆ シンポジウムに5名の選出依頼あり  
生物化学：岩田技師（松江日赤）、血液：安達技師（島根大学）  
輸血：見山技師（松江日赤）、生理：赤沼技師（県中）、総合：永田技師（県中）
- ◆ 一般演題座長に2名の選出依頼あり  
血液：坂根技師（松江日赤）、生理：高野技師（松江日赤）
- ◆ 学会開催に合わせて、部門長会議等も開催される予定とのこと

## 審議事項

1. 災害対策マニュアル作成について（資料参考） 要検討
  - ◆ 決めなければいけないことが多数ある
  - ◆ 内容を固めるグループ（各施設の災害対応担当者など）、行政や外部との交渉グループ（三役など）での活動が必要か
2. 新人研修及び施設代表者会議について 承認
  - ◆ 新人研修は令和元年、施設代表者会議は令和3年、が最後の開催
  - ◆ 今年は新人研修を開催する方向で計画、新人研修対象者は38名（7月1日現在）
  - ◆ 9月10月開催予定で企画・検討（事務局、総務部が担当）を行う
3. コロナ集団教育ガイドラインの文面について（参考資料） 承認
  - ◆ 移動歴、接触歴の項目について見直しを行う
4. 島臨技 写真展、部活動について（資料参考）
  - ◆ 写真展：副賞は福利厚生費から支出を行う（ニュース費はニュース発行のために支出）  
広報が担当として活動する 承認
  - ◆ 部活動：自主性に任せる活動に疑問あり、やるのであれば意味のある活動にすべき、ハードルは低めの方がよい、年代での集まりがやりたい、などの意見あり  
→ 要検討案件とする（7月中頃までに賛否含めた意見集約を）

## その他

- ◆ 一般社団法人化10周年について（領家氏）  
→ 記念行事が必要かどうかなど確認、検討する
- ◆ 定款見直しについて（領家氏） → 今後の検討課題とする
- ◆ 島臨技ニュース用事業計画提出依頼あり → 該当者は7月8日までに提出を
- ◆ 事業計画（案）を定期総会時に承認していないことについて異議あり（藤原誠氏）
  - ・ 以前は定期総会で事業計画案の承認もあった（年2回定期総会のあった頃か）
  - ・ 現行、定期総会では経過報告、次期予算案のみ（日臨技定期総会でも同様）
  - ・ 定款でも、定期総会での議決項目では「次年度事業計画の立案」については定めていないため問題はないと考えるが、再度確認する
- ◆ 次期学術部門長の決め方について、理事会で決めてほしいとの意見あり（藤原誠氏）  
各学術部門長の考えも聞く必要あり  
→ 今理事会では決めかねるため今後の検討事項とする
- ◆ 技師連盟より、参議院議員選挙に関して宮島会長は立候補を断念された旨通知

第3回 令和4年11月18日（金） 出雲市民会館（一部オンライン）

## 報告事項

### 〈総務〉

- ◆ 会員の動向 465名（入会35名） 令和4年11月16日現在
- ◆ 「地域ニューリーダー研修会」について、当県の今年度開催は見送り
- ◆ 日臨技「表彰規定」により本年度より「日臨技貢献賞（個人）」が制定された  
前会長・錦織昌明氏が該当者のため、当県より推薦書を提出する
- ◆ 日臨技創立70周年・法人化60周年記念に際し「厚生労働大臣表彰」対象者を各県より推薦するよう依頼あり。日臨技推薦枠で前会長・錦織昌明氏を推薦することが確定済

- ◆ 島根県推薦枠の候補者として 元会長・角森正信氏 承認

#### 《企画》

##### 【検査と健康展】

11月5日（土） イオン松江ショッピングセンターで開催

実務委員参加者 21名 被検者 104名

- ＜参考＞ ・鳥根県はHP上に検査についての動画を掲載することで開催を振替  
・日臨技的には現地開催を推奨

#### 《学術》

##### 【研修会 終了分】

- ・9月10日 臨床一般部門研修会 日臨技会員 92名参加（他2名）
- ・9月17日 臨床微生物部門研修会 日臨技会員 37名参加（他1名）
- ・9月25日 生物化学分析部門研修会 日臨技会員 84名参加（他2名）

##### 【研修会 予定分】

- ・11月20日 輸血細胞治療部門研修会 オンライン予定
- ・12月1日 臨床生理部門研修会 オンライン予定
- ・2月23日 病理細胞部門 オンライン予定
- ・中四国支部臨床生理部門研修会 オンデマンド配信

令和5年1月10日（火）9:00 ～ 1月22日（日）23:59 開催予定

##### 【精度管理】

- 10月18日 試料発送
- 10月19日 実施日
- 11月8日 速報公開
- 2月20日 報告集原稿をHPにUP予定
- 3月12日 精度管理報告会（島根医学検査学会同日開催）予定

#### 《西部》

- ◆ 浜田市健康フェスティバル 10月30日（日）いわみーるで開催予定であったが中止
- ◆ 島根医学検査学会 まだ1題も演題登録なし  
：集まれる状況であれば現地開催 or ハイブリット開催予定
- ◆ 抄録はWEB掲載予定。会場用に数十部分プリントアウトする対応は可
- ◆ 座長選出は今後検討、ランチョンは無し

#### 《タスク・シフト実技講習会》

- ◆ 第2回実技講習会 令和4年8月28日（日） ろうかん（松江市）にて終了  
（松江赤十字病院での開催予定が、コロナ感染拡大により施設が閉鎖のため会場を変更）
- ◆ 第3回実技講習会 令和5年1月29日（日） 出雲朱鷺会館にて開催予定  
1月16日を目途に開催を判断  
50人を切るようであれば、各施設長に声がけして参加してもらうよう依頼
- ◆ 第4回実技講習会 令和5年2月26日（日） ろうかんにて開催予定  
（会場は変更の可能性あり）
- ◆ 第5回実技講習会 令和5年8月 西部開催を計画 50人を切らないよう対策を  
実務委員は流動的に交代しながら開催している

## 《会長》

- ◆ 中四国支部連絡会議での報告
- ◆ 中四国支部医学検査学会（広島）の報告：島根からの参加に際しお礼があった
- ◆ 中四国支部での会議で決まったことについて報告  
研修会の各県への周知の仕方について：中四国支部でのルールを作成した

## 審議事項

### 1. 島臨技サーベイ 血液試料について

保留

臨床血液部門長 勝部氏より下記血液試料購入について提案

- ◆ ストレック社製のものをシスメックスが販売している  
5濃度あり最低2濃度からの注文
- ◆ 1本2,700円（定価）だが、1本2,000円で購入可能。例年2濃度で実施しているので1施設2本として約45セットだと180,000円程度
- ◆ 全国で24団体使用されており、近隣では岡山県と高知県が導入。広島県が検討中
- ◆ 現在は2名の方より供血頂き（謝礼各2,000円）島根大学にて作製
- ◆ 貧血気味の方と、普通の方、双方の人血を準備する必要がある

#### <問題点>

- ◆ 血液部門だけの対応でよいのか？
- ◆ 他部門で同様の要望があるとさらに金額がかさむ
- ◆ 自前作成では事前作成ができないため発送当日の対応が必要
- ◆ 各部門の現状、経費、要望を取りまとめる  
生化学：購入している 輸血：血液センターからの無償提供が終了し、購入している
- ◆ 精度を保つためにはきちんとした製品を使用し、見合った収入が得られるよう参加費を調整する必要もあり

### 2. 島根医学検査について

承認

- ◆ 投稿状況について 10題の申込あり
- ◆ 投稿用紙レイアウトについて
- ◆ 印鑑欄廃止について
- ◆ 印刷業者変更について

### 3. 新人研修について

再検討

- ◆ 当初、10月開催で予定していたがコロナの状況を考えて延期した
- ◆ 今後のコロナの状況を考えると危惧されるが・・・内容変更も検討する必要もある  
高野：コロナの状況、実務委員の被りもあり、開催が厳しいのでは  
会長：できれば開催を望む  
藤原：予算としては2月までの開催だと今年度会計にあがる

### 4. 部門員の学会参加旅費について

承認

- ◆ 中四国学会時の部門連絡会議参加のための参加費を島臨技から出すことが可能か  
（自施設からの出張費が出ない場合）
- ◆ 業務上やむをえない場合、自施設から出張費が出ない場合など、事務局に連絡
- ◆ 三役で協議する

### 5. 災害マニュアルについて経過報告

- ◆ 関連団体（県？医師会？施設？業者？）と連携を取り、どの役割を担うかの決定が必要  
荒木：技師会内の施設間連携が取れるようなものをまず一つ作成したい

6. 臨地実習指導者研修会の参加について 承認
- ◆ 積極的な参加を求む (令和5年2月にも開催予定あり)
  - ◆ 荒木：内容が網羅されていない施設だと、他施設に頼む必要あり (例：内視鏡等)
  - ◆ 指導者 (各施設1人) が異動になった場合の対応は？
  - ◆ 情報提供しながら進めていく必要がある
7. 広報部より 承認
- ◆ 第1回写真コンテストの投稿作品について
  - ◆ 1名3作品の応募あり これはコンテストに該当するのかわ？  
→コンテストには該当しない→第1回は終了とする
  - ◆ ニュースへの掲載を希望するか応募者本人の意向を確認し、掲載の判断を行う
  - ◆ 次回やるのであれば、もっと案を練って応募をつのつてはどうか？
  - ◆ 島臨技ニュースについて 現在8割程度完成、今後査読を依頼する
  - ◆ 新年号 会員紹介を各施設に依頼する

第4回 令和5年3月12日(日) Zoomによるオンライン開催  
報告事項

《総務》

- ◆ 会員の動向 465名(入会38名) 令和5年3月11日現在
- ◆ LOVE49全国アクション2023年寄付金30,000円 1月末支払い済み
- ◆ 「日臨技貢献賞(個人)」前会長・錦織昌明氏が受賞決定
- ◆ 第2期 日臨技ニューリーダー育成研修会開始
  - ・5年計画で3名の人材育成を開始
  - ・令和5年3月4日～5日 東京にて開催
  - ・杉原辰哉理事(松江市立病院)参加

《学術》

【研修会 終了分】

- ◆ 11月20日 輸血細胞治療部門研修会 日臨技会員94名参加(他2名)
- ◆ 12月1日 臨床生理部門研修会 日臨技会員40名参加(他2名)
- ◆ 1月21日 臨床一般部門研修会 日臨技会員43名参加(他3名)
- ◆ 2月18日 臨床血液部門研修会 日臨技会員29名参加(他0名)
- ◆ 2月19日 輸血細胞治療部門研修会 日臨技会員73名参加(他2名)
- ◆ 2月23日 病理細胞部門 日臨技会員85名参加(他2名)
- ◆ 中四国支部臨床生理部門研修会がオンデマンド配信  
令和5年1月10日(火)～1月22日(日) 日臨技会員 430名参加

【精度管理】

3月12日(日) 10:00～12:00 精度管理報告会 (Zoomによるオンライン形式)

《西部》

島根医学検査学会 3月12日(日) 13:00～ (Zoomによるオンライン形式)

演題8題

《タスク・シフト実技講習会》

- ◆ 第3回実技講習会 令和5年1月29日(日) 出雲朱鷺会館にて開催  
55名申込(3名当日欠席) 52名参加

- ◆ 第4回実技講習会 令和5年2月26日(日) 松江赤十字病院(松江)にて開催  
57名申込(3名当日欠席) 54名参加
- ◆ 島根県受講修了者数 226名(約48%) 第4回終了時点
- ◆ 第5回実技講習会 令和5年8月20日(日) 朱鷺会館(出雲)にて開催予定
- ◆ 鳥取県で4月9日開催の実技研修会に、島根県会員も参加可能の予定

《会長》

- ◆ 日臨技理事会・中四国支部連絡会議からの報告  
(施設情報変更、研修会等の緊急メール、会計勉強会など)
- ◆ 令和5年度 中四国支部医学検査学会(愛媛) 令和5年9月16, 17日
- ◆ 令和5年度 第72回日本医学検査学会(群馬) 令和5年5月20, 21日
- ◆ 令和6年度 中四国支部医学検査学会(鳥取担当) 時期未定
- ◆ 令和7年度 第74回日本医学検査学会(鳥取担当)  
令和7年5月10, 11日 大阪国際会議場

審議事項

1. 島臨技サーベイ 生化学試料について

- ◆ 例年購入していた福岡県技師会より受託中止の通知
  - ・現在(福岡県製)は合計33,000円程度
  - ・今後日臨技に申し込むと合計148,500円となる  
(低濃度1,320円×45本=59,400円 高濃度1,980円×45本=89,100円)
  - ・令和6年度から施行
  - ・部門長、副部門長、中四国支部で相談した結果、日臨技試料の使用を希望
- ◆ 令和6年度より血液も試料購入予定で年18万円追加予定
- ◆ 現在精度管理参加費は基本料金5,000円+αで合計240,000円程度
- ◆ 参加費の値上げも検討

<意見> 日臨技も令和6年度から値上げを検討

- ◆ 物価の高騰及び、関連する諸費用の値上げにより値上げは今が妥当
- ◆ 参加費が上がったことで不参加になる施設も増える懸念はある
- ◆ 日臨技の値上げ比率との比較があると施設の上層部への説明が容易

<結論> 参加費の基本料金を3,000円の値上げとする

現行 5,000円 令和6年度より 8,000円

: 3年間は据え置きで動向をみる 承認

2. 島根県医学検査学会抄録 及び 精度管理報告書

- ◆ 提出されたものはフォント、大きさ、形式がバラバラ
- ◆ 国会図書館をはじめ、5団体に送る物なので有る程度の形式は揃えるべき
- ◆ 精度管理報告書は表紙の添付し、表紙に実務委員名を記載
- ◆ 学会抄録は発表者に○印等のルール作成が必要では?
- ◆ 県学会の日臨技の抄録登録システム利用について  
中四国学会や日本医学検査学会もシステム利用のためシステム化も考慮

【学会抄録】 日臨技システムを利用する 承認

【精度管理報告書】 島臨技 HP にテンプレートを掲載し、形式に則り作成 承認

### 3. 災害マニュアルについて経過報告

2月16日の会議を受けて・・・

荒木理事 メール添付されたマニュアル（案）を各自確認して意見を募集（4月末締切）

- 領家理事
- ・形式上の作成に留めはいけない
  - ・災害時に何らかの連携が取れるような仕組作りが必要
  - ・有事に技師会として何ができるかを模索し、県や卸との協定を結ぶべき
  - ・来年度事業として、実際のこととして動き出す必要あり
  - ・島臨技としての活動案も含めて意見募集

### 4. 臨地実習指導者研修会の参加について

- ◆ 各施設1名の制限解除
- ◆ 今後、実習生受け入れ施設以外の施設の受講拡大予定

### 5. タスク・シフト実技講習会の今後の進め方につて

- ◆ 開催の予定、頻度等の方向性共有  
8月開催予定の実技講習会 50人を満たすのは厳しい可能性あり  
県内募集を先行し、様子を見て県外枠を設ける 承認
- ◆ 県またぎの運用について島根県のやり方を決めておく  
中四国支部では支部内の県またぎを想定しており、支部会議でも相談していく
- ◆ 5年計画が終わるころには、新しいタスク・シフト項目が増える可能性もある

### 6. 株式会社サンメディアの事業撤退について

- ◆ 令和6年7月31日でインターネットサービスからの撤退予定
- ◆ 今後の対応を考える必要が有る
- ◆ 各病院等のHPの状況の情報を集める 承認

### 7. 年間計画について 令和5年度の主要な事業について

- ◆ 定期総会：基本的には集合形式で5月28日（日）or 6月4日（日）を予定  
事業報告：4月8日までに提出
- ◆ 新人研修・50代研修：来年度早いうち（5月or6月）会場は出雲近辺で開催予定
- ◆ 施設代表者研修：災害マニュアルについて動き出す予定（10月頃？）
- ◆ 検査と健康展：企画部長病欠のため 企画部代理部長・石倉理事  
11月頃開催予定（研修会予定との相談）
- ◆ 新年賀会：令和6年1月20日予定（1月27日は日臨技新年賀会予定？）
- ◆ タスク・シフト実技講習会：令和6年1月28日
- ◆ 県学会・精度管理報告会：令和6年2月末から3月初めに予定（精度管理進捗状況次第）
- ◆ 会計監査 4月3～5日あたりで出雲開催 矢田谷監事・和田監事 担当  
予算案、決算書については後日役員にメール承認を取る
- ◆ 現在確定の行事

中四国支部血液部門研修会 日程：11月11日（土）12日（日）

会場：出雲市民会館

## 2 企画部

### 【検査と健康展】

日 時：11月5日（土） 10：30～15：00

会 場：松江イオンショッピングセンター 1階吹き抜け広場

内 容：1.骨の健康チェック 2.血管年齢測定 3.貧血検査 4.ストレス度チェック  
5.パンフレット配布 6.パネル展示

実務委員：渡部 和也、足立 優奈、赤沼 佳子（島根県立中央病院）

青戸 正樹、高野 智晴、釘谷 美佐、勝部 史成（松江赤十字病院）

細田 優太、鶴田 紗里、長島 大輝（松江赤十字病院）

田原 美優、金山 優花（出雲徳洲会病院） 門脇 久美子（JA 島根厚生連）

田中 秀一、山根 美玖、岸本 明子（松江生協病院）

石倉 陽子（JCHO 玉造病院） 吾郷 春奈（町立奥出雲病院）

陶山 すみこ（松江記念病院） 杉原 辰哉（松江市立病院） 藤原 圭子（事務局）

事前準備実務委員

青山 恵子、今岡 千春、渡辺 仙子、槇原 明佑夏（松江生協病院）

### 【タスク・シフト実技講習会】

《 第1回 令和4年3月20日（日） 》

会 場：松江赤十字病院

講 師：渡谷 祐介 先生（広島大学大学院医系科学研究科外科学 医師）

永野 麻美 先生、佐々木 八重 先生（松江赤十字病院 看護師）

北脇 あゆみ 先生、千代 直尚 先生（松江赤十字病院 看護師）

実務委員：領家 敬子、赤沼 佳子（島根県立中央病院） 杉原 辰哉（松江市立病院）

青戸 正樹、高野 智晴（松江赤十字病院） 藤原 誠（雲南市立病院）

石川 理恵（松江生協病院）

《 第2回 令和4年8月28日（日） 》

会 場：ろうかん（労働者会館）

講 師：渡谷 祐介 先生（広島大学大学院医系科学研究科外科学 医師）

永野 麻美 先生、佐々木 八重 先生（松江赤十字病院 看護師）

北脇 あゆみ 先生、千代 直尚 先生（松江赤十字病院 看護師）

実務委員：赤沼 佳子（島根県立中央病院） 杉原 辰哉（松江市立病院）

青戸 正樹、高野 智晴、小笠原 愛（松江赤十字病院）

藤原 誠（雲南市立病院） 石川 理恵（松江生協病院）

安井 亘（島根大学医学部附属病院）

《 第3回 令和5年1月29日（日） 》

会 場：朱鷺会館

講 師：渡谷 祐介 先生（広島大学大学院医系科学研究科外科学 医師）

阿川 啓子 先生、平井 由佳 先生（島根県立大学 看護師）

森山 美香 先生、園山 純代 先生（島根県立大学 看護師）

実務委員：赤沼 佳子、手銭 遥（島根県立中央病院） 杉原 辰哉（松江市立病院）

青戸 正樹、高野 智晴（松江赤十字病院） 藤原 誠（雲南市立病院）

安井 亘（島根大学医学部附属病院）木永 芙美（NHO 浜田医療センター）

《 第4回 令和5年2月26日（日） 》

会 場：松江赤十字病院

講 師：渡谷 祐介 先生（広島大学大学院医系科学研究科外科学 医師）

永野 麻美 先生、佐々木 八重 先生（松江赤十字病院 看護師）

北脇 あゆみ 先生、千代 直尚 先生（松江赤十字病院 看護師）

実務委員：赤沼 佳子、渡部 和也（島根県立中央病院）杉原 辰哉（松江市立病院）

青戸 正樹、高野 智晴、長島 大輝（松江赤十字病院）

藤原 誠（雲南市立病院）安井 亘（島根大学医学部附属病院）

### 3 西部地区

新型コロナウイルス感染拡大予防のためイベント等は中止

### 4 広報部

島臨技ニュース

No. 164（令和4年8月）

新旧会長挨拶、事業計画、新役員紹介、タスク・シフト実技講習会、研修会報告他（P20）

No. 165（令和4年11月）

全国検査と健康展、タスク・シフト実技講習会、新入会員自己紹介他（P12）

No. 166（令和5年2月）

新年・年頭のご挨拶、あつまれ けんさぎしの森、研修会報告、理事会報告他（P17）

### 5 学術部

#### 1) 学術各賞の表彰について

なし

#### 2) 精度管理事業

参加施設 41 施設

#### 3) 研修会

##### (1) 一般検査部門研修会

日 時 令和4年9月10日（土） 14:00～16:30

形 式 Zoomによるオンライン方式

内 容 「各種悪性細胞と類似細胞・ウイルス感染細胞との鑑別法」

講師：シーメンズヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

八木 靖二 先生

日臨技会員 92名参加（他2名）

(2) 臨床微生物部門研修会

日 時 令和4年9月17日(土) 14:00～15:00

形 式 Zoomによるオンライン方式

内 容 「細菌検査の基礎～培地の再確認～」

講師：極東製薬工業株式会社 営業学術部 顧問 永禮 旬 先生

日臨技会員 37名参加(他1名)

(3) 生物化学分析部門研修会

日 時 令和4年9月25日(日) 10:00～11:30

形 式 Zoomによるオンライン方式

内 容 「肝炎の診断治療 Up to Date～検査技師の留意することを踏まえて～」

講師：山口大学大学院医学系研究科 消化器内科学(第一内科学)教授

高見 太郎 先生

日臨技会員 84名参加(他2名)

(4) 輸血細胞治療部門研修会

日 時 令和4年11月20日(日) 14:00～15:10

形 式 Zoomによるオンライン方式

内 容 「夜間当直帯の輸血検査」

講師：オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス(株)

イムノヘマトロジー事業本部 マーケティング部テクニカルサービス

齋藤 大輔 先生

日臨技会員 94名参加(他2名)

(5) 臨床生理部門研修会

日 時 令和4年12月11日(日) 10:00～11:10

形 式 Zoomによるオンライン方式

内 容 「血圧脈波検査研修会」

講師：フクダコーリン株式会社

藪田 ゆみ 先生

日臨技会員 40名参加(他2名)

(6) 第2回 臨床一般部門研修会

日 時 令和5年1月21日(土) 14:00～16:00

形 式 Zoomによるオンライン方式

内 容 「UF-5000におけるスキヤッタグラム活用法」

講師：Sysmex 学術サポート課

山下 正 先生

日臨技会員 43名参加(他3名)

(7) 臨床血液部門研修会

日 時 令和5年2月18日(土) 10:00 ~ 11:00

形 式 Zoomによるオンライン方式

内 容 「令和4年度精度管理調査報告(CBC)」

講師：NHO 浜田医療センター 別府 凌成 先生

島根県立中央病院 LSI メディエンス検査室 小林 芳友 技師

「令和4年度精度管理調査報告(フォトサーベイ)」

講師：松江赤十字病院

坂根 聡 技師

松江赤十字病院

今岡 まみ 技師

島根大学医学部附属病院

足立 絵里加 技師

日臨技会員 29名参加(他0名)

(8) 第2回 輸血細胞治療部門研修会

日 時 令和5年2月19日(日) 10:00 ~ 11:30

形 式 Zoomによるオンライン方式

内 容 「輸血検査の基礎-事例から考える Part II -」

講師：バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社 カスタマーケア本部

カスタマーサポート部

柿沼 幸利 先生

日臨技会員 73名参加(他0名)

(9) 病理細胞部門研修会

日 時 令和5年2月23日(木) 10:00 ~ 11:20

形 式 Zoomによるオンライン方式

内 容 「薄切に関するアーチファクトの解説」

講師：サクラファインテックジャパン株式会社 営業本部 学術顧問

篠田 宏 先生

日臨技会員 73名参加(他0名)

## 令和 4 年度 生涯教育一覽表

開催日時	科目	行事名	参加人数	点数
令和 4 年				
4月 10日	臨床検査の基礎	令和3年度 精度管理報告会	131名	基礎20
5月 29日	組織活動	定期総会	109名	基礎30
9月 10日	検体検査	臨床一般部門研修会	94名	専門20
9月 17日	検体検査	臨床微生物・染色体遺伝子部門研修会	38名	専門20
9月 25日	検体検査	生物化学分析部門研修会	86名	専門20
11月 5日	公益活動	令和4年 検査と健康展	20名	基礎20
11月 20日	検体検査	輸血細胞治療部門研修会	96名	専門20
12月 11日	生体検査	臨床生理部門研修会	42名	専門20
令和 5 年				
1月 21日	検体検査	第2回 臨床一般部門研修会	36名	専門20
2月 18日	検体検査	臨床血液部門研修会	29名	専門20
2月 19日	検体検査	第2回 輸血細胞治療部門研修会	75名	専門20
2月 23日	検体検査	病理細胞部門研修会	87名	専門20
3月 12日	臨床検査の基礎	令和4年度 精度管理報告会	131名	基礎20

令和4年度 名誉会員、参与及び顧問（順不同、敬称略）

顧問	木谷光博	益田赤十字病院
顧問	小阪真二	島根県立中央病院
顧問	矢野彰三	島根大学医学部附属病院
顧問	入江隆	松江市立病院
顧問	中澤芳夫	島根県済生会江津総合病院
顧問	大居慎治	松江赤十字病院
名誉会員	岡喜之助	自宅会員
名誉会員	下瀬洋一	自宅会員
名誉会員	北尾政光	自宅会員

令和4年度 委員会委員

1. 表彰（賞・罰）審査委員会

委員長	新田江里	島根大学医学部附属病院
委員	糸賀真理	島根県立中央病院
	青山真理	松江赤十字病院
	高野智晴	松江赤十字病院

2. 役員推薦委員会

委員長	青山真理	松江赤十字病院
委員	馬庭祥平	島根県済生会江津総合病院
	公田幸子	島根県立中央病院
	足立絵里加	島根大学医学部附属病院
	和田進	益田赤十字病院
	佐藤悦子	雲南市立病院

3. 専門委員会

1) 「島根医学検査」編集委員会

委員長	杉原辰哉	松江市立病院
委員	吉田寛幸	出雲市民病院
	野津礼子	大田市立病院
	荒木剛	島根大学医学部附属病院

4. 部門委員会

1) 学術部

部門別研究班

生物化学分析部門

部門長	糸原智生	松江赤十字病院
副部門長	岡崎亮太	島根大学医学部附属病院
副部門長	恒松巧	島根県済生会江津総合病院

臨床一般部門

部門長	石倉純子	松江市立病院
副部門長	原康洋	松江赤十字病院

副部門長	須山 真由美	雲南市立病院
臨床血液部門		
部門長	勝部 瑞穂	出雲市立総合医療センター
副部門長	小林 芳友	島根県立中央病院メディエンス検査室
副部門長	別府 凌成	NHO 浜田医療センター
臨床微生物・染色体遺伝子部門		
部門長	戸田 隆士	島根県環境保健公社
副部門長	川島 史祥	島根大学医学部附属病院
副部門長	山谷 由香里	益田赤十字病院
輸血細胞治療部門		
部門長	石原 智子	島根大学医学部附属病院
副部門長	糸賀 真人	島根県立中央病院
副部門長	石川 佑介	島根県済生会江津総合病院
病理細胞部門		
部門長	長崎 雅幸	島根大学医学部附属病院
副部門長	片寄 充男	島根県立中央病院
副部門長	渡辺 拓也	益田赤十字病院
臨床生理部門		
部門長	下垣 真紀子	島根県立中央病院
副部門長	原 法子	島根県立中央病院
副部門長	福間 麻子	島根大学医学部附属病院
副部門長	門永 陽子	松江市立病院
副部門長	大田 桃佳	NHO 浜田医療センター
臨床検査総合部門		
部門長	永田 智紀	島根県立中央病院
副部門長	小池 尚司	安来市立病院
副部門長	吉岡 豊道	益田赤十字病院
精度管理委員会		
会長	領家 敬子	島根県立中央病院
責任者	杉原 辰哉	松江市立病院
委員長	青山 裕一	出雲徳洲会病院
副委員長	野畑 亜希子	島根大学医学部附属病院
学識経験者	矢野 彰三	島根大学医学部附属病院 検査部長

精度管理実務委員会

委 員

糸原	智生	松江赤十字病院
岡崎	亮太	島根大学医学部附属病院
恒松	巧	島根県済生会江津総合病院
柳楽	治希	松江赤十字病院
大野	元嗣	松江生協病院
汐田	晋也	島根県立中央病院メデイエンス検査室
藤原	治美	島根県環境保健公社
大國	翼	島根大学医学部附属病院
野津	礼子	大田市立病院
石倉	純子	松江市立病院
須山	真由美	雲南市立病院
原	康洋	松江赤十字病院
勝部	瑞穂	出雲市立総合医療センター
小林	芳友	島根県立中央病院メデイエンス検査室
別府	凌成	NHO浜田医療センター
足立	絵里加	島根大学医学部附属病院
今岡	まみ	松江赤十字病院
坂根	聡	松江赤十字病院
戸田	隆士	島根県環境保健公社
川島	史祥	島根大学医学部附属病院
山谷	由香里	益田赤十字病院
石原	智子	島根大学医学部附属病院
糸賀	真人	島根県立中央病院
石川	佑介	島根県済生会江津総合病院
藤原	宇志	島根大学医学部附属病院
長崎	雅幸	島根大学医学部附属病院
片寄	充男	島根県立中央病院
渡辺	拓也	益田赤十字病院
山下	大貴	NHO浜田医療センター
下垣	真紀子	島根県立中央病院
福間	麻子	島根大学医学部附属病院
原	法子	島根県立中央病院
門永	陽子	松江市立病院
大田	桃佳	NHO浜田医療センター
朽木	達也	松江赤十字病院

(順不同)

2) 広報部

「島臨技ニュース」編集委員会

委員長	藤原	誠	雲南市立病院
委員	石倉	陽子	JCHO 玉造病院

## 5. 関連各種委員および役員

中国四国支部臨床検査技師会

部門連絡責任者学術担当 杉原 辰哉 松江市立病院

部門連絡責任者

生物化学分析部門	糸原 智生	松江赤十字病院
臨床一般部門	石倉 純子	松江市立病院
臨床血液部門	勝部 瑞穂	出雲市立総合医療センター
臨床微生物・染色体遺伝子部門	戸田 隆士	島根県環境保健公社
輸血細胞治療部門	石原 智子	島根大学医学部附属病院
病理細胞部門	長崎 雅幸	島根大学医学部附属病院
臨床生理部門	下垣 真紀子	島根県立中央病院
臨床検査総合部門	永田 智紀	島根県立中央病院

(順不同)

## 医学検査学会発表者

### 1. 第71回日本医学検査学会

ハイブリッド開催（大阪府）令和4年5月21日（土）～5月22日（日）

一般演題発表

「ARCHITECT アナライザーi2000SRにおける TRAb 測定試薬の基礎的検討」

福岡 弘行 島根県立中央病院メディエンス検査室

「2021年度日臨技病理・細胞診検査に関するアンケート調査の報告1」

松原 真奈美 島根県立中央病院

「2021年度日臨技病理・細胞診検査に関するアンケート調査の報告2」

松原 真奈美 島根県立中央病院

「術中脊髄モニタリングの際に針電極伸展が原因で偽陽性を示した1例」

杉原 辰哉 松江市立病院

一般演題座長

微生物 9 樋野 智 松江赤十字病院

微生物 12 石倉 純子 松江市立病院

臨床化学 8 糸原 智生 松江赤十字病院

生理 17 高野 智晴 松江赤十字病院

2. 2022 (R4) 年度中四国支部医学検査学会 (第 55 回)

現地開催 (広島県) 令和 4 年 10 月 22 日 (土) ~10 月 23 日 (日)

【部門別企画】

生理部門

知っておきたい心血管エコー ~ 明日から活かす! 心血管エコーのスキルアップ~

「頸動脈」

赤沼 佳子 島根県立中央病院

血液部門

症例から学ぶ凝固検査 ~知識と技術から信頼を得られる検査室を目指して~

「後天性血友病」

足立 絵里加 島根大学医学部附属病院

輸血・細胞治療部門

『〇〇もできる』を目指せ! ~輸血部門のタスク・シフト/シェア~

「安全な輸血医療副反応が起きた時の助言、適正使用のチェック」

見山 晋一 松江赤十字病院

検査総合管理部門

臨床検査技師に求められる診療支援の在り方

~良質な医療の提供と地域医療構想に向けた検討~

「タスク・シフト/シェア業務~内視鏡分野への参画について~」

永田 智紀 島根県立中央病院

シンポジウム座長

今こそ学ぼう臨床化学・免疫検査の基礎 ~極めよう生化学・免疫検査の呼吸~

岩田 祐紀 松江赤十字病院

一般演題発表

「遅発性 GBS 感染症の原因として経母乳感染が疑われた 2 症例」

小笠原 愛 松江赤十字病院

「COVID-19 ワクチンに対する IgG 抗体価の中長期的推移に関する検討」

野津 泰子 島根大学医学部附属病院

「自動化学発光酵素免疫分析装置 Accuraseed によるアルドステロン測定試薬の基礎的検討」

柳楽 治希 松江赤十字病院

「パンススによる大動脈弁位人工弁機能不全の 1 症例」

栃木 達也 松江赤十字病院

「血液型検査で A 亜型を経験した一症例」

勝部 史也 松江赤十字病院

「Microsoft Office Excel VBA を用いた文書管理システムの構築」

細田 優太 松江赤十字病院

「Microsoft Office Excel VBA を用いた試薬管理システムの構築」

細田 優太 松江赤十字病院

一般演題座長

生理	高野 智晴	松江赤十字病院
血液	坂根 聡	松江赤十字病院

3. 第10回島根医学検査学会

Web 開催 令和5年3月12日(日)

一般演題発表

「SARS-CoV-2 抗原定量における再検基準見直しの検討」

烏山 浩二 島根県立中央病院メディエンス検査室

「当院で実施している血液像の内部精度管理について」

竹本 舞 島根県立中央病院メディエンス検査室

「呼吸機能検査における技師間の精度管理への取り組み」

古川 翔太 島根大学医学部附属病院

「ニューモシスチス肺炎を契機に成人 T 細胞性白血病/リンパ腫が判明した 1 例」

久保田 幸佑 NHO 浜田医療センター

「当院で重症熱性血小板症候群 (SFTS) と診断された 2 症例」

吉原 亜紀 松江赤十字病院

「アミラーゼ測定試薬の基質間で値が大きく乖離した検体について」

清重 篤志 益田赤十字病院

「角膜擦過物より *Moraxella nonliquefaciens* を検出した 1 例」

山谷 由香里 益田赤十字病院

「心エコー検査にて確認された ICD リード真菌感染症の 1 例」

梶谷 凌也 松江赤十字病院

一般演題座長

坂根 聡	松江赤十字病院
田中 智美	松江赤十字病院

## 令和5年度 一般会計予算

款	項	目	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	増減	備考
会費収入			3,950,000	3,950,000	0	
	会費収入	会員会費	3,150,000	3,150,000	0	@7,000×450名
		賛助会員会費	800,000	800,000	0	@20,000×40社
事業収入			880,000	1,480,000	600,000	
	事業収入	広告収入	150,000	150,000	0	島根医学検査、ニュース
		研修会参加費	0	100,000	100,000	
		精度管理受検料	230,000	230,000	0	40施設
		助成金	500,000	1,000,000	500,000	日臨技助成金
雑収入	雑収入	雑収入	10,000	10,000	0	預金利息、文献使用料
繰越収入	繰越収入	前年度繰越金	4,500,000	5,414,640	914,640	
収入合計			9,340,000	10,854,640	1,514,640	

款	項	目	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	増減	備考
事務費			3,310,000	3,630,000	320,000	
	庶務費		2,430,000	2,430,000	0	
		役員報酬	300,000	300,000	0	
		人件費	1,300,000	1,300,000	0	事務職員人件費
		消耗品費	250,000	250,000	0	ラベル、封筒、コピー用紙他
		通信費	200,000	200,000	0	電話、インターネット、切手他
		備品費	230,000	230,000	0	コピー機リース料
		管理諸費	150,000	150,000	0	支払い手数料
	会議費		330,000	600,000	270,000	
		会議費	30,000	100,000	70,000	理事会他
		旅費交通費	300,000	500,000	200,000	
	事務所費	事務所費	500,000	550,000	50,000	事務所家賃、光熱水道費
	雑費	雑費	50,000	50,000	0	
事業費			3,050,000	3,550,000	500,000	
	総会費	総会費	150,000	200,000	50,000	議案集、会場費、講師料他
	精度管理費	精度管理費	750,000	750,000	0	試料代、発送料、実務委員日当
	学術活動費		900,000	1,100,000	200,000	
		学術活動費	400,000	600,000	200,000	研修会、県学会
		会誌	500,000	500,000	0	島根医学検査
	広報活動費		850,000	1,100,000	250,000	
		島臨技ニュース	400,000	400,000	0	年4回発行
		広報活動費	150,000	300,000	150,000	HP維持管理費
		地域活動費	300,000	400,000	100,000	検査と健康展、健康フェスティバル、他
	組織強化費		400,000	400,000	0	
		厚生費	300,000	300,000	0	会員慶弔費、新年賀会
		組織強化・交際費	100,000	100,000	0	
予備費	予備費	予備費	400,000	500,000	100,000	
支出合計			6,760,000	7,680,000	920,000	

区分	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	増減	備考
収入額	9,340,000	10,854,640	1,514,640	
支出額	6,760,000	7,680,000	920,000	
差引額	2,580,000	3,174,640	594,640	

## 令和4年度 賛助会員

- 1 シスメックス株式会社
- 2 デンカ株式会社
- 3 ニットーボーメディカル株式会社
- 4 シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
- 5 アークレイマーケティング株式会社
- 6 フクダ電子岡山販売株式会社
- 7 ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社
- 8 オーソ・クリニカル・ダイアグノスティクス株式会社
- 9 ミナリスメディカル株式会社
- 10 栄研化学株式会社
- 11 株式会社アキメディ
- 12 H.Uフロンティア株式会社
- 13 株式会社カイノス
- 14 株式会社宮田薬品
- 15 ビオメリュー・ジャパン株式会社
- 16 株式会社日立ハイテック
- 17 株式会社アイディエス
- 18 極東製薬工業株式会社
- 19 ティーエスアルフレッサ株式会社
- 20 積水メディカル株式会社
- 21 ラジオメーター株式会社
- 22 武藤化学株式会社
- 23 株式会社エイアンドティー
- 24 富士フイルム和光純薬株式会社
- 25 チェスト株式会社
- 26 ベックマン・コールター株式会社
- 27 アボットジャパン合同会社
- 28 小西医療器株式会社
- 29 関東化学株式会社
- 30 株式会社 ビー・エム・エル
- 31 メディカルシステム株式会社
- 32 東ソー株式会社
- 33 有限会社友田大洋堂
- 34 シスメックスCNA株式会社
- 35 株式会社福山臨床検査センター
- 36 株式会社シノテスト
- 37 株式会社エバルス
- 38 バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社
- 39 日本電子株式会社
- 40 株式会社LSIメディエンス

以上40社 (順不同)

## 会員状況（令和5年3月31日現在）

一般会員	465名
賛助会員	40社

例年会員の異動状況とお名前を掲載しておりましたが、個人情報保護の為此らについても掲載を差し控えさせていただきます。ご理解の程宜しくお願いいたします。

一般社団法人 島根県臨床検査技師会

令和5年度 定期総会議案書

令和5年5月1日 発行

発行者 領家 敬子

発行所 一般社団法人 島根県臨床検査技師会

〒690-0825 島根県松江市学園2丁目23-15

キャステロット102号

TEL (0852) 20-2922 FAX (0852) 20-2933

E-mail : [shimane-amt@sanmedia.or.jp](mailto:shimane-amt@sanmedia.or.jp)

URL : <https://shimane-amt.org/>

編集 領家 敬子 赤沼 佳子 杉原 辰哉 藤原 圭子